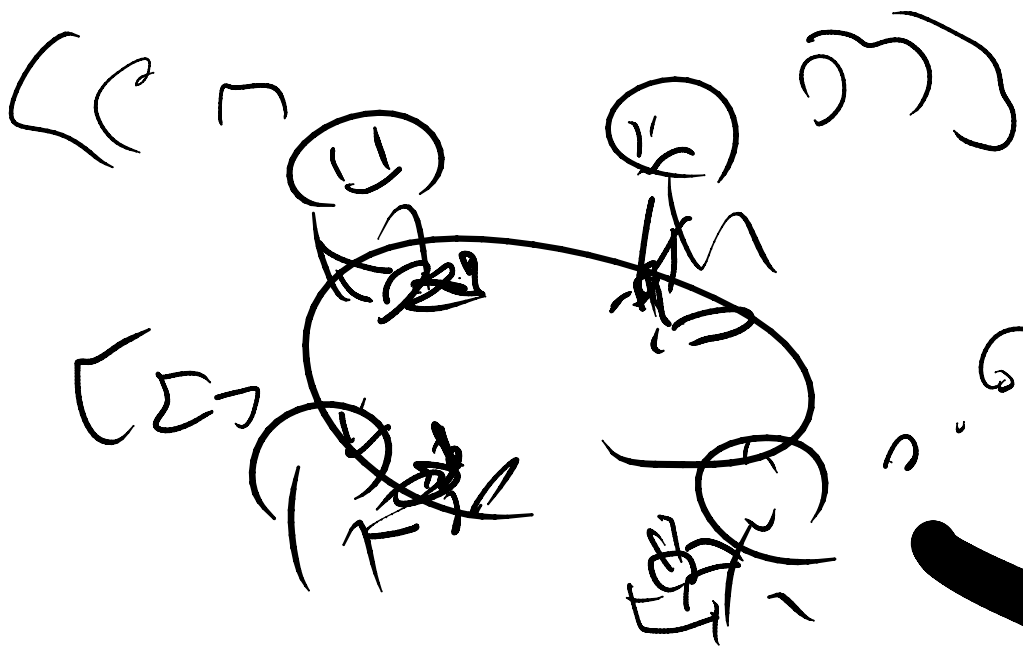
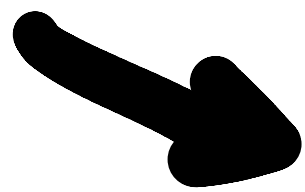


5

ランダム再分配ブレスト



カードを配る  
アイデアを考える  
カードに描く



カードを混ぜる  
適当に再分配する



発想の刺激にして  
アイデアを考える  
(&新しいカードに描く)



人数：3～7人、時間：10～30分、活用用途：「ネーミング案の列挙」や「企画の具体コンテンツの提案」等

## 最初のターン

アイデアをカードに書く（書けるだけ書く。時間＝5分）

集めシャッフルし再分配

## 二番目のターン

手元に来たカードを発想の刺激にして、更にアイデアを書く（ 〃 ）

配られたカードも、新たに書いたカードも集める。シャッフルし再分配

## 三番目以降のターン（繰り返し）

最大時間を30分ぐらいにして、ターンの長さや、回数を調整してもよい。なお、ターンが進むほど、カードの扱いは大変になる（一人あたり10枚を超えるぐらいから）ので、正確に同じ数に分けなくてもいいので、素早く分配する。

**長所：**シャッフルによって、異なる発想からでてきたカードが並ぶので、新しい組み合わせを想起しやすくなる。**メンバーが、特殊な発想ワークへの取り組みに否定的な場合にも、実行しやすい。**

**短所：**ブレインライティングに比べ「必ず3つ書く」という「強制発想」の構造がないので、アイデアをほとんど出さない人がでてくる。多数のカードを集めシャッフルし配るという、カード操作に手間がかかる。カードを沢山必要とする。